

## メトロポリタン史学会の結成を宣言します

会長 佐々木隆爾

私たちのメトロポリタン史学会は、2005年4月23日、熱気に満ちた創立総会の中で結成されました。本会の趣旨は、東京都立大学が首都大学東京に改組されたのを機に、都立大学時代に培われた歴史学の成果をひきつぎ、一層の発展を図ろうという点にあります。都立大学史学科は、ほぼ60年にわたり、多くの人材を世に送り、研究に、教育に、出版活動にと眼を見張る成果を挙げて来ました。また考古学から現代史にわたり、世界史の観点からユニークな研究を世に問い、成果を蓄積して来ました。

今回の大学改組で、史学科という組織がなくなったのは残念ですが、それを契機に、成果を継承・発展させるために史学会を組織しようという声が一挙に高まり、本会が結成されました。学外の実力ある研究者諸氏の中にも、すでに入会をいただいた方がおられます。

メトロポリタン史学会は日本歴史学界の宝です。是非ともあなたの力をお寄せください。

## メトロポリタン史学会設立総会・大会報告

4月23日(土)に、首都大学東京(東京都立大学)国際交流会館大会議室において、メトロポリタン史学会の設立総会・大会が開催されました。参加者は50余名でした。

午前10時、増谷英樹・奥村哲両氏を議長に選出して設立総会が始まりました。まず学会設立までの経過が報告され、次いで会則案、活動方針案、投稿規定案、予算案が順次報告され、採択されました(2~4頁参照)。討論では、学外への発信を強化すること、談話会との関係を密にすること、会誌に歴史教育分野の研究を反映させることなどが要望として出されました。そして最後に会の運営を担う委員を選出して終了しました。

午後は、「歴史の中の大都市」をテーマに、創立記念シンポジウムが開かれ、充実した報告と討論が行われました。内容は以下の通りです。なお報告は会誌『メトロポリタン史学』創刊号(2005年12月刊)に掲載の予定です。

木下正史(東京学芸大学)「日本最初の都城・藤原京 その誕生と構造」

佐竹靖彦(都立大学名誉教授)「長安から北京へ 城郭都市の観点から見た中華2000年の首都」

吉田伸之(東京大学)「巨大城下町・江戸の社会的結合」

中野隆生(首都大学東京)「パリをめぐる郊外の形成と展開」

そして午後6時から、会場を駅前の中華料理店・春庭花に移して、懇親会が行われました。30名をこえる参加者全員が近況報告や今後の抱負を述べるなど、学会の出発にふさわしい会となりました。

## メトロポリタン史学会会則

- 第一条 名称 本会はメトロポリタン史学会と称する。
- 第二条 目的 本会は歴史学・考古学に関する研究とその公開を目的とする。
- 第三条 事業 本会は前条の目的を達成するために、次の事業を行う。
- 一 大会
  - 二 シンポジウム・研究会・講演会・見学会等
  - 三 会誌『メトロポリタン史学』等の発行
  - 四 その他本会の目的を達成するために意義のある事業
- 第四条 会員 本会は次のうち、本会の会則を認め、会費を納入した者により構成される。
- 一 首都大学東京都市教養学部人文社会系国際文化コース歴史・考古学分野の教員・元教員と在学生・卒業生、および同大学院人文科学研究科史学専攻、同大学院人文科学研究科文化基礎論専攻歴史・考古学分野の在学者と在学した者
  - 二 東京都立大学人文学部史学科の教員・元教員と在学生・卒業生、および同大学院人文科学研究科史学専攻の在学者と在学した者
  - 三 上記以外の者
- 第五条 役員 本会の事業を遂行するために次の役員を置く。役員はすべて総会において選出され、任期は二年とする。ただし、再任をさまたげない。
- 一 会長一名 本会を代表し会務を総括する。
  - 二 副会長数名 会長を補佐し、会長に事故ある時は、その職務を代行する。
  - 三 委員二〇名程度 会務を執行する。
  - 四 監事二名 会計および会務全般を監査する。
- 第六条 運営 本会に次の運営組織を置く。
- 一 総会 総会は毎年一回、会長が召集する。ただし、会長が必要であると認める時、あるいは会員の三分の一以上の要求がある時は、臨時総会を開催するものとする。総会における議決は出席会員の過半数をもって行う。
  - 二 委員会 委員会は会長・副会長・委員によって構成される。委員会は会長が召集し、本会の運営にかんする事項について審議決定する。
- 第七条 経費 本会の運営は会費・寄付金その他をもって行う。会費は総会において定める。本会の会計年度は四月一日から三月三十一日とする。
- 第八条 事務局 本会の事務局は首都大学東京に置く。
- 第九条 会則改定 会則は総会において、出席者の三分の二以上の賛成がある場合に変更することができる。
- 第十条 本会の会則は、2005年4月23日から施行する。

## メトロポリタン史学会 2005年度活動方針 2005.4 ~ 2006.3

1. 会誌『メトロポリタン史学』第一号を2005年12月に刊行する。
2. 研究会・書評会等を実施する。
3. 秋の企画（シンポジウム、見学会等）を立案・実施する。
4. 出版事業の計画を作成する。
5. 第2回総会・大会（2006年4月）の準備を行う。
6. 150名を目標に会員拡大に努め、会財政の確立を図る。
7. 都立大学歴史学研究室談話会との連絡を密にし、相互協力の体制を作る。

## メトロポリタン史学会 2005年度予算 2005.4 ~ 2006.3

### 〔収入〕

会費		730,000円
一般会員	5,000円 × 140人	700,000円
学生・院生	3,000円 × 10人	30,000円

### 〔支出〕

会誌制作費		500,000円
郵便料金		106,000円
会誌郵送	240円 × 150人	36,000円
会誌寄贈	240円 × 50件	12,000円
入会案内	80円 × 600人	48,000円
その他		10,000円
事務用品代		30,000円
アルバイト代		50,000円
予備費		44,000円
合計		730,000円

## メトロポリタン史学会 2005年度委員名簿

任期：2005.4 ~ 2007.3

会 長：佐々木隆爾  
副 会 長：峰岸純夫、峯岸賢太郎、増谷英樹、青木哲夫、小谷汪之  
事 務 局：木村誠（事務局長）、赤羽目匡由  
編 集：河原温（責任者）、奥村哲、佐々木真、澤田秀実、新村恭、月脚達彦、福田千鶴、山田朗  
企画・研究：中野隆生（責任者）、小野昭、角田三佳、川合康、趙景達、橋谷弘、林田伸一  
監 事：立石博高、木村茂光

本会では、会員の皆様の積極的なご寄稿をお待ちしています。広く、歴史研究・教育の諸領域にかかわる内容のものを求めます。

## 『メトロポリタン史学』(The Metropolitan Shigaku) 投稿規定

- (1) 本誌は、年一回12月に発行するものとし、原稿の締切は、毎年8月末日とする。
- (2) 投稿資格は、原則として会員に限る。ただし、編集委員会からの依頼原稿に関してはこの限りではない。
- (3) 投稿言語は、日本語または英語とする。
- (4) 投稿原稿は、歴史学・考古学、歴史教育の分野に関する以下の種目のものとする。  
論文(図表を含み、24,000字以内;英文の場合は、8,000語以内)  
研究ノート・史料紹介(同 12,000字以内;英文の場合は4,000語以内)  
学界動向(8,000字以内;英文の場合は2,700語以内)  
時評・提言(4,000字以内)
- (5) 論文、研究ノート(縦書き、横書きいずれも可)には、欧文で要旨(300語以内)を添付する(原文が英文の場合は日本語要旨800字以内)。また目次用の英文タイトルを付記する。
- (6) 原稿は、編集委員会が採否を決定する。その際、論文、研究ノートについては、編集委員会および編集委員会が委嘱した査読者の審査を経る。
- (7) 著者校正は、初校のみとし、校正時における文章の大幅な変更は認めない。
- (8) 注は、末尾にまとめる。
- (9) 原稿は原則として、印字された原稿(表、図表を含む)3部、フロッピーディスク及び別記送り状<sup>\*</sup>(1部)を提出する。
- (10) 掲載の論文、研究ノート・史料紹介、学界動向については、別刷り50部を進呈する。
- (11) 原稿の送り先、照会については、

〒192-0397 八王子市南大沢1-1 首都大学東京 都市教養学部 人文・社会系

国際文化コース(歴史・考古学分野) 河原 研究室 気付

『メトロポリタン史学』編集委員会

Tel: 0426-77-2119 (河原研究室) Fax: 0426-77-2112

E-mail: kawahara@comp.metro-u.ac.jp (河原温研究室内)

SNC47077@nifty.com (河原温)

\* 送り状は学会ホームページ(<http://www.geocities.jp/metropolitanshigaku/>)からダウンロードするか、または本会報6頁に添付のものをコピーしてご使用下さい。

## 書評会のお知らせ

下記の要領で研究会（書評会）を行います。会員・非会員を問わず参加費無料です。お誘い合わせの上  
ご出席ください。

日 時：2005年7月18日（月・海の日） 午後2時～5時

会 場：首都大学東京 国際交流会館 中会議室

（京王相模原線・南大沢駅下車、徒歩15分） \*地図参照\*

書 評：松本彰・立石博高編『国民国家と帝国 ヨーロッパ諸国民の創造』（山川出版社、2005年）

評者：安田浩（千葉大学・日本近代史）

鍋谷郁太郎（東海大学・ドイツ史）

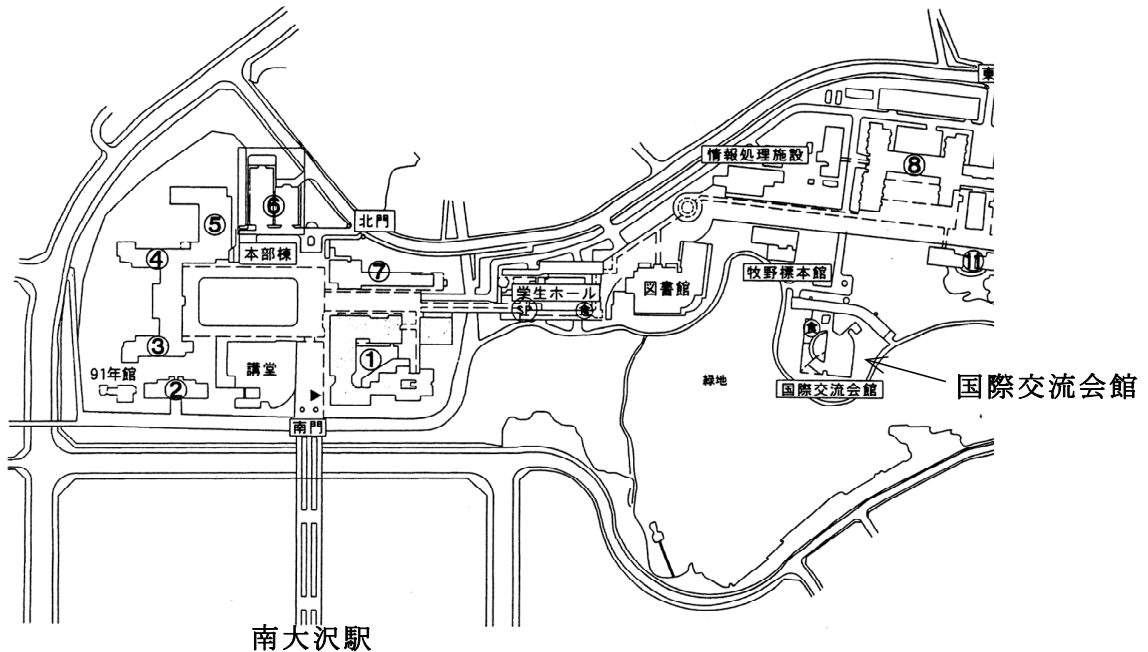
中野隆生（首都大学東京・フランス史）

司会：林田伸一（成城大学・フランス史）

中嶋毅（首都大学東京・ロシア史）

\*執筆者の参加も予定しております。

### 首都大学東京国際交流会館案内図



## 秋のシンポジウム・予告

下記の通り、秋のシンポジウムを企画中です。詳細は追ってお知らせいたしますが、予定表に 印をつけておいてください。

日 時：2005年11月26日（土） 午前10時～午後5時

会 場：首都大学東京（東京都立大学）国際交流会館 大会議室

内 容：「歴史の中の移動」をテーマに縄文時代～近代までの報告を準備中

## 『メトロポリタン史学』投稿原稿用送り状

種別を で囲む	論文	研究ノート・史料紹介	学界動向	時評・提言
著者名	日本語			
	英語			
表題	日本語			
	英語			
本文( で囲む)	日本語	英語	図	( )枚
要旨( で囲む)	英語	日本語		( )枚
ワープロソフト名 又はワープロ専用機種名( )				
フロッピーディスクの種類 ( )				
連絡先				
〒				
住所				
ふりがな		Tel:		
氏名		Fax:		
		E-mail:		
No.	受付:	年	月	日
No.	受理:	年	月	日

## 【事務局からのお願い】

現在、会費納入率が55%にとどまっております。2005年度会費を未納の方には振替用紙を同封しましたので、至急納入して下さるようお願いいたします。一般5,000円、学生・院生3,000円です。郵送料節約のため、次号の会報やその他会からののお知らせは、なるべくEmailを利用したいと思います。アドレスをまだ登録されてない方は、下記の学会専用アドレスまでお知らせください。

メトロポリタン史学会(会長 佐々木隆爾)

〒192-0397

東京都八王子市南大沢1-1

首都大学東京 都市教養学部 人文・社会系 国際文化コース 歴史・考古学分野内

: 0426-77-2110 (木村誠研究室)

E-mail: mshigaku@comp.metro-u.ac.jp

ホームページ: <http://www.geocities.jp/metropolitanshigaku/>

郵便振替: 00100-0-537287